

議題2 全市一斉総合防災訓練の実施について

1. 過去の訓練実施結果について

実施主体・内容	H24年度 (平日)	H25年度 (平日)	H26年度 (土曜日)	H27年度 (日曜日)
市				
災害対策本部運営訓練	41人	60人	67人	78人
施設(学校含む)の避難訓練	89施設	87施設	51施設	22施設
地区防災委員会				
安否確認訓練	172団体	183団体	197団体	231団体
避難所運営訓練	14校区	14校区	14校区	14校区
防災イベント	0校区	6校区	14校区	14校区
市・自衛隊(H26は医師会、H27は地区防災委員会が参画)				
トリアージ訓練	—	—	1カ所	2カ所

【参考①】安否確認(黄色いハンカチ作戦)訓練の実施状況

項目	H24年度 (平日)	H25年度 (平日)	H26年度 (土曜日)	H27年度 (日曜日)
参加自治会数(再掲)	172団体	183団体	197団体	231団体
参加率	67%	68%	70%	76%
ハンカチによる 確認軒数	7,101軒	11,554軒	12,875軒	15,849軒
声かけによる 確認軒数	4,015軒	2,328軒	3,357軒	3,760軒
確認率	47%	57%	64%	69%
ハンカチ掲出率	30%	47%	51%	56%

【参考②】平成27年度の地区防災委員会による防災イベントの様子（一部）

<p>防災講演会 豊川北小校区</p>	<p>消火訓練 西南小校区</p>	<p>炊き出し訓練 萱野東小校区</p>
		
<p>校区にお住まいのかたに、阪神・淡路大震災のボランティア活動を通じて学んだこととお話いただきました。</p>	<p>消防分団による迫力満点の消火訓練や、消防車の出動訓練が披露されました。</p>	<p>避難所の防災倉庫に蓄えられている非常食・保存食を使って炊き出しを行い、試食しました。</p>

	
<p>毛布の担架でボールを運ぼう 毛布で簡易担架を作ってボールを運ぶゲームを行い、身近にあるものが災害時に必要な道具として代用できることを学びました。</p>	<p>防災クイズラリー 避難所内を回り、各教室が災害時にどのように使われるかを確認しながら、防災に関するクイズに挑戦しました。</p>

<p>救援救護訓練 豊川南小校区</p>		<p>其面警察署員による救出訓練 萱野小校区</p>
<p>地域の医師のみなさんにご協力いただき、AED(自動体外式除細動器)の使い方や応急手当の方法を学びました。</p>	<p>高性能救助車の展示 救助活動に必要な人員や資機材を、迅速に災害現場まで運ぶ救助車を展示。子どもたちに大人気でした。</p>	<p>テントを倒壊家屋に見立て、救助の妨げになる鉄筋や柱を、チェーンソーで切断しながら要救助者のもとへと向かう、迫力の訓練が披露されました。</p>
		

中小・萱野小の2校区で実施!

トリアージ訓練

大規模災害が発生したとき、傷病者を治療する優先度を定めるトリアージの訓練を、中小校区と萱野小校区で実施しました。

中小校区では陸上自衛隊が、萱野小校区では市消防職員が、タンスの下敷きになった場合など、さまざまな状況を想定して、緊張感あふれるトリアージを実演しました。

 <p>中小校区</p>	 <p>萱野小校区</p>
--	--

トリアージとは、災害現場などで多数の傷病者が発生し、医師・看護師や薬が足りない場合、一番多くの命が救えるよう、けがの重さと緊急性によって治療の優先順位を決めることです。

トリアージタグ▶

2. 平成 28 年度実施計画（案）

【実施日】平成 29 年 1 月 17 日（火曜日）

【想定】震度 6 強の直下型地震

【実施主体】市、地区防災委員会、自治会等

※他の団体等とは今後調整

【実施内容】下表のとおり

実施主体	実施内容（案）	備考
市	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策本部運営訓練 ・協定締結事業者等との初動、受援、連携訓練 ・施設の避難訓練 	
地区防災委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・安否確認訓練 ・避難所運営訓練 ・防災イベント 	
自治会等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災ステーションを使用した防災資器材使用訓練 	※新規
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の「家族の約束」の確認 ・避難所、避難ルートの確認 ・3日分の水、食料などの点検 	